

第2学年 特別活動

第2学年の学習到達目標

- (1) 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
- (2) 集団の一員としての自覚を深め、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

第2学年の主な学習内容

学期	題材名	学習のねらい	学習内容
前期	学級の目標を決めよう	2年生としての自覚をもたせ、楽しい学級づくりをしようとする。	学級目標
	学級の係と席を決めよう	係や班の目的を知り、がんばろうとする態度を育てる。	係活動の内容、班作り
	1年生を迎える会の準備をしよう	1年生を温かく迎えてあげるにはどうすればよいか考える。	1年生を迎える会の準備
	発表の仕方や話の聞き方を考えよう	発表の仕方や話の聞き方を考え、お互いを認め合う態度を育てる。	発表の仕方や話の聞き方
	楽しい給食の時間にしよう	正しい準備の仕方やマナーを知らせ、給食の時間を楽しくする。	給食の時間の約束
	学級出発の会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなる。	出発の会
	学級のきまりを守ろう	クラスの一員であることを自覚させ、協力する態度を育てる。	気持ち良く過ごすための約束
	楽しい運動会にしよう	運動会のめあてをもたせ、進んで参加しようとする態度を育てる。	運動会のめあて
	雨の日の遊びを考えよう	雨の日の過ごし方について考える。	雨の日の遊び
	校外生活のきまりを守ろう	梅雨時の安全な通学の仕方など校外生活のきまりを守る。	安全な通学の仕方
	図書館でのやくそくを守ろう	図書館のきまりを理解させ、上手に利用できるようにする。	図書館の使い方
	みんなで仲良く遊ぼう	仲良く楽しい生活にするにはどうすればよいか考え、実行する。	友達と遊び、仲良くなる
	班活動の反省をしよう	前期の班活動をふり返り、2学期に向けてのめあてをもつ。	班活動の反省、計画
	お楽しみ会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなる。	お楽しみ会
	楽しい夏休みの過ごし方を考えよう	自分に合った計画を立てさせ、めあてをもった生活をする。	夏休みのくらし
平和集会をしよう	平和集会を通して、平和について考える。	平和について	
係の仕事の工夫を発表しよう	係活動の工夫を発表し合い、良い方法を取り入れる。	係活動の工夫	
よい姿勢について考えよう	正しい姿勢を保ち、健康に過ごそうとする態度を育てる。	正しい姿勢と健康のつながり	
後期	後期のめあてを決めよう	各自のめあてを考えさせ、努力する態度を育てる。	後期の目標
	後期の係と席を決めよう	前期の反省をもとに、協力してがんばろうとする態度を育てる。	係活動の内容、班作り
	本を読んで紹介し合おう	本を紹介し合い、読書のはばを広げる。	図書館祭りに向けて
	お楽しみ会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなる。	お楽しみ会
	球技大会をしよう	球技大会に向けて取り組むことを考える。	球技大会に向けて
	感謝して食べよう	給食室で働いている人たちの様子を知らせ感謝の気持ちをもたせる。	給食を感謝して食べることの大切さ、マナー
	お楽しみ会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなる。	お楽しみ会
	冬休みの過ごし方を考えよう	有意義な冬休みの過ごし方について考える。	冬休みのくらし
今年のめあてを決めよう	各自のめあてを考えさせ、努力する態度を育てる。	今年の目標	

後期	係と席を決めよう	昨年の反省をもとに、協力してがんばろうとする態度を育てる。	係活動の内容、班づくり
	かぜの予防をしよう	かぜやインフルエンザにかからないように過ごす習慣や態度を養う。	手洗いやうがいの方法、予防
	寒さに負けず外で遊ぼう	みんなで楽しく遊べる遊びを考え、外で遊ぶようにする。	学級遊び
	6年生を送る会の準備をしよう	お世話になった6年生に感謝の気持ちをもつ。	6年生を送る会の準備
	なわとび大会をしよう	なわとび大会に向けて取り組むことを考える。	なわとび大会に向けて
	1年間をふり返り、3年生に向けてがんばろう	1年間をふり返り、3年生になるための心構えをもつ。	2年生のまとめ
	学級お別れ会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなる。	お別れ会
	春休みを楽しく過ごそう	有意義な春休みの過ごし方について考える。	春休みのくらし

○ 活動計画の内容は、その時の学級の実態などに応じて変更することもあります。

評価の観点・方法

学級活動は他の教科と異なり、よい子のあゆみなどで示す評価はありません。

学級活動は大きくは2つの内容に分かれています。「学級や学校の生活の充実と向上に関する内容」と「日常生活や学習への適応及び健康や安全に関する内容」です。

前者は、主に教師の支援のもとに、児童が自ら考え、話し合い、かかわり、行動していきます。後者は、学校生活や行事に合わせ、教師が計画的に指導内容の重点化を図りながら進めていきます。

評価にはあられませんが、児童がこれらの活動を通して、集団の一員として友達と協力してよりよい生活を築こうと活動しているか、さらに、心身の調和のとれた発達と個性の伸長が図れたか等を評価していきます。

多くは、教師の観察や、児童自身の自己評価などを参考に総合的に評価をしていきます。

また、活動そのものがどうであったかをふりかえる観点としては、「話し合うべき事項に対する意見が多く出されたか」「児童による自主的な活動が行われたか」「多くの児童の意見を取り上げることができたか」等があげられます。

使用材教等

学習の興味を高め、理解を深めるため、特に「日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること」については、絵や実物模型、写真、VTRなどを教材として活用します。

留意事項

学校の持っている教育力を地域に、また、地域の教育力を学校に生かしていきたいと思っています。今後、いろいろな活動で、指導者やゲストティーチャーが必要になる場面があります。学校だよりや学年・学級だよりでもお知らせしますので、児童の願いや思いが実現できますようご支援、ご協力をお願いします。

その他

- (1) 学校行事や「1年生を迎える会」「6年生を送る会」などの児童会行事とも連携させながらコミュニケーション能力や人のかかわり能力を身につけていきます。
- (2) 給食指導や健康安全に関する指導については、学校栄養職員や養護教諭さらには専門機関にお願いし、専門性を生かした、より効果的な指導に向けて、幅広く協力を得ながら進めています。